

# 経済学部 経済学科

## 2022年度入学生カリキュラム

### <カリキュラム情報>

- ◆ **ディプロマ・ポリシー/カリキュラム・ポリシー** ..... p.2  
ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)とは、取得する学位にふさわしい人材として、各学科で学生が卒業までに身に付けるべき知識・能力を示したものです。カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成方針)とは、ディプロマ・ポリシーに基づく各学科の教育内容や教育方法についての基本的な考え方を示したものです。
- ◆ **カリキュラム・マップ [武蔵野 INITIAL・学科科目]** ..... p.3  
科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。
- ◆ **卒業所要単位数** ..... p.5  
必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数の一覧。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。  
※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。
- ◆ **開講表 [武蔵野 INITIAL]** ..... p.6  
武蔵野INITIAL(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では開講年次、単位数、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **開講表 [学科科目]** ..... p.8  
学科科目の一覧。開講表では開講年次、単位数、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **履修モデル** ..... p.11  
学びの関心や将来の進路目標に沿った科目の履修例。履修計画を立てる際に、科目選択の参考としてください。  
※履修モデル自体は卒業所要単位数を満たすことを保証するものではないため、卒業所要単位数と開講表を必ず確認したうえで履修計画を立ててください。
- ◆ **成果に基づき単位認定される科目** ..... p.14  
「留学の単位認定科目」「資格試験の合格による単位認定科目」「本学で認めたボランティア活動による単位認定科目」「本学で認めたキャリアデザインに関する単位認定科目」の一覧。

### 付録：卒業所要単位表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

経済学科 ディプロマ・ポリシー/カリキュラム・ポリシー [2022年度入学生]

ディプロマ・ポリシー(DP) …学位授与の基本的な考え方として、修得を期待する能力を示したもの		カリキュラム・ポリシー(CP) …ディプロマ・ポリシーを達成するために必要なカリキュラム編成や教育方法についての基本的な考え方
<b>DP1 知識・専門性【学びの基礎力を基盤とした専門能力】</b>		
教養・基礎学力	自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】 多岐にわたる社会科学に接し、社会分析に必要な広い知識・基本的な考え方を修得している【教養・基礎学力】	本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野INITIAL」を履修します。「武蔵野INITIAL」では、大学での学修に必要な基盤的な技法と知識の修得を目的として、「建学」「スポーツ・身体」「情報」「CHP（Creating Happiness Program）」「フィールド・スタディーズ」「外国語」「全学教養セミナー」などを学びます。幅広い教養を身につけ、広い視野を備えたすぐれた人格の形成を目指します。
専門能力	現代経済の諸現象を読み解くことのできる専門的知識や視点を修得し、論理的に考える力を身につけている【専門性能力】	全員履修科目で専門能力を身につけるための基礎を学びます。「経済学入門」で最も基本となる経済学的考え方を学び、「経済学と数学」「経済学のための数学」や「統計学」で経済学を修得する上で欠かすことのできない数学・統計学といったツールを身につけます。これらの知識を前提として「ミクロ経済学入門」「マクロ経済学入門」「中級ミクロ経済学」「中級マクロ経済学」で経済理論の基礎を修得します。 全員履修科目で得た経済学の基礎知識を前提として、基幹科目群・展開科目群の専門科目を学び、経済学の理解を深めます。 経済学の専門科目を主体的に学ぶことによって、理論的思考力、データ分析力、歴史的考察力を磨き、社会に役立つ専門性を身につけます。
<b>DP2 関心・態度・人格【他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力】</b>		
課題発見力	グラフや表から経済現象の特徴・変化を読み取り、現代社会の問題点を検討できる能力を修得している【課題発見力】	基礎・基幹科目群の知識をもとに、「金融論」「財政学」「国際経済史」「産業組織論」「日本経済論」「環境経済学」「労働経済学」「公共経済学」「国際貿易論」「国際金融論」「行動経済学」「都市経済学」などの専門科目を学ぶことによって、現代社会における諸問題を認識し、それらの問題を解決するために、どのように経済学の知見が応用されているかを理解します。この現実の社会に対する理解を前提に、「統計学」「データ分析入門」「計量経済学」等で学んだ、データを取得・分析する方法を使って、現実のデータから問題点を読み取り主体的に分析できる力を養います。 異文化や企業など学校以外の場を経験することによって、社会で主体的に行動する能力を身につけるために、語学研修、国内・海外インターンシップなどのプログラムを準備しています。
主体性・実行力・ストレスコントロール力	グローバル社会の中で主体的に自分の意見の発信力、柔軟な考え方、またストレス耐性を身につけている【主体性・実行力・ストレスコントロール力】	
人格形成・使命感	大学の建学の精神を基に健全な倫理観、使命感を持って社会の発展に貢献できる【人格形成・使命感】	
<b>DP3 思考・判断【課題を多角的に捉え、創造的に考える力】</b>		
情報分析力・論理的思考力・判断力	ビッグデータ等に対応できる統計理論を理解し統計処理の方法を修得している【情報分析・論理的思考・判断力】	経済学の専門科目で様々な経済理論を学ぶことによって、現実の社会における、ある特定の問題に対する解決策はひとつではなく、現代の経済理論の枠組みの中でさいくつかの考え方が存在することを理解し、それらの中で最適な政策は何かを考える力を養います。また、「統計学」「データ分析入門」「計量経済学」等で学んだ、データを取得・分析する方法を使って、複数の考え方の中からどの政策を採用することが現実の課題の解決にもっとも有効であるかを分析できる力を身につけます。
課題解決力	複雑な相互関係からなる現代経済の諸問題について、理論的・統計的・歴史的な観点から総合的に考えることができる【課題解決力】	
創造的思考力	経済理論と統計的方法を使って、経済社会の諸問題についての解決策を提案できる【創造的思考力】	
<b>DP4 実践的スキル・表現【多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力】</b>		
語学力・コミュニケーション力	海外の経済状況に関心を持ち、議論できる【コミュニケーション力】 自らの考えを論理的に構成、整理し、伝える、意見交換ができる【ディスカッション力】	PC必修とし、授業・ゼミナールにおいてデータをを用いた演習を充実させています。 プレゼミ・ゼミナールにおいて、レジュメやパワーポイントを利用したプレゼンテーションの方法や、ディスカッション・ディベートなどの方法を学び、多様な社会の中で適切な議論を行うことができる力を養います。
表現力	専門的知見を生かした研究成果をわかりやすくまとめ、報告できる【表現力】	
傾聴力・リーダーシップ・チームワーク力	グローバル社会の中で、多様な文化を理解し、他者と協力し、社会活動を牽引できる【傾聴力・チームワーク・リーダーシップ】	



1年		2年			3~4年															
<p>◆ ECON 105 データ分析入門</p> <p>◆ ECON 103 経済学と数学</p>		<p>◆ ECON 104 統計学 1</p>		<p>◆ ECON 107 統計学 2</p>			<p>◆ ECON 205 計量経済学 1</p> <p>◆ ECON 201 経済学のための数学</p>			<p>◆ ECON 206 計量経済学 2</p>										
<p>◆ ECON 101 経済学基礎 1</p> <p>ECON 102 経済学基礎 2</p>		<p>◆ ECON 111 経済学入門</p>		<p>◆ ECON 112 ミクロ経済学入門 1</p>			<p>◆ ECON 211 ミクロ経済学入門 2</p> <p>◆ ECON 217 ゲーム理論 1</p>			<p>ECON 213 中級ミクロ経済学 1</p> <p>ECON 218 ゲーム理論 2</p>		<p>ECON 214 中級ミクロ経済学 2</p>		<p>ECON 351 産業組織論 1</p> <p>ECON 353 労働経済学 1</p>			<p>ECON 352 産業組織論 2</p> <p>ECON 354 労働経済学 2</p>		<p>ECON 355 行動経済学</p>	
<p>ECON 131 データで学ぶ世界経済</p>		<p>◆ ECON 121 マクロ経済学入門 1</p>		<p>◆ ECON 222 マクロ経済学入門 2</p>			<p>ECON 223 中級マクロ経済学 1</p> <p>ECON 227 金融論 1</p>			<p>ECON 224 中級マクロ経済学 2</p> <p>ECON 228 金融論 2</p>		<p>ECON 321 国際金融論 1</p>			<p>ECON 323 日本経済論</p> <p>ECON 322 国際金融論 2</p>		<p>ECON 325 金融システム論</p>			
							<p>ECON 261 国際経済史 1</p> <p>ECON 263 現代経済史 1</p>			<p>ECON 262 国際経済史 2</p> <p>ECON 264 現代経済史 2</p>		<p>ECON 361 経済思想史 1</p>			<p>ECON 362 経済思想史 2</p>		<p>ECON 363 データで学ぶ日本経済史</p>			
							<p>ECON 241 財政学 1</p>			<p>ECON 242 財政学 2</p>		<p>ECON 341 公共経済学 1</p> <p>ECON 343 環境経済学 1</p>			<p>ECON 342 公共経済学 2</p> <p>ECON 344 環境経済学 2</p>		<p>ECON 345 途上国の経済分析</p>			
				<p>ECON 271 英語で学ぶ経済学 1</p>			<p>ECON 272 英語で学ぶ経済学 2</p>			<p>ECON 331 国際貿易論 1</p> <p>ECON 333 経済政策論</p>			<p>ECON 332 国際貿易論 2</p> <p>ECON 334 都市経済学</p>							
<p>ECON 106 大学での学び方考える</p>		<p>◆ ECON 191 初年次ゼミ</p>		<p>◆ ECON 291 経済学プレゼミ</p>			<p>◆ ECON 391 ゼミナール 1</p>			<p>◆ ECON 392 ゼミナール 2</p>		<p>◆ ECON 491 ゼミナール 3</p>		<p>◆ ECON 492 ゼミナール 4</p>		<p>ECON 493 卒業論文</p>				
<p>BIZ 100 経営学入門</p> <p>ACF 102 会計学入門</p>		<p>BIZ 201 経営学基礎</p> <p>ACF 211 簿記 1</p>		<p>BIZ 225 ファイナンシャル・プランニング論 1</p> <p>ACF 212 簿記 2</p>			<p>BIZ 226 ファイナンシャル・プランニング論 2</p>													
							<p>CD 261 地方公務員特殊研究1</p>			<p>CD 262 地方公務員特殊研究2</p>		<p>CD 363 地方公務員特殊研究3</p>			<p>CD 364 地方公務員特殊研究4</p>		<p>CD 361 キャリア開発</p>			
<p>LAW 101 法学 1 (法学の基礎)</p> <p>LAW 111 憲法 1 (統治)</p>		<p>LAW 102 法学 2 (法学概論)</p> <p>LAW 112 憲法 2 (人権)</p>		<p>LAW 123 民法 S 1 (総則)</p> <p>LAW 228 民法 S 3 (債権各論)</p>			<p>LAW 227 民法 S 2 (物権法・担保物権法)</p> <p>LAW 229 民法 S 4 (債権総論)</p>			<p>LAW 211 行政法 1 (総論①)</p>		<p>LAW 321 民法 5 A (親族法)</p> <p>LAW 311 行政法 2 (総論②)</p>			<p>LAW 322 民法 5 B (相続法)</p>					
<p>POLS 101 政治学原論 1</p>		<p>POLS 102 政治学原論 2</p>		<p>POLS 211 政治学史 1</p> <p>POLS 241 国際政治学 1</p> <p>POLS 223 公共政策論 1</p>			<p>POLS 212 政治学史 2</p> <p>POLS 242 国際政治学 2</p> <p>POLS 224 公共政策論 2</p>			<p>POLS 221 日本政治論</p> <p>POLS 222 行政学</p>										

◆ 全員履修科目

\* 各科目の履修条件は開講表を参照

- 基礎科目群
- 基幹科目群
- 展開科目群
- 応用科目群
- 最先端研究
- 経営・会計科目群
- 資格対策科目群

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL (16)	必修 (16)	【建学】 <1年次> 仏教（生き方を考える）基礎 [2単位] <3年次> 仏教（生き方を考える）発展 [2単位]	4
		【情報】 データサイエンス基礎 [1単位] 人工知能基礎 [1単位]	2
		【外国語】 英語基礎 A [2単位] 英語基礎 C [2単位]	4
		【教養日本語】 日本語リテラシー [1単位]	1
		【CHP】 SDGs 基礎 [1単位] SDGs 発展 1 [1単位] SDGs 発展 2 [1単位] SDGs 発展 3 [1単位]	4
		【フィールド・スタディーズ】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1
学科科目 (84)	選択必修 (60)	【基礎科目群・基幹科目群・展開科目群・応用科目群・最先端研究】より60単位 ※上記のうち30単位は【基礎科目群・基幹科目群】より修得すること	84
	選 択 (24)	学科科目から24単位を選択（60単位を超えて修得した選択必修の単位を含む）	
自由選択科目 (24)		以下の科目から24単位以上を修得すること ①武蔵野INITIAL（所要16単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要84単位を超えて修得した単位） ③他学部・他学科履修許可科目 ④成果に基づき単位認定される科目（自由選択科目算入のみ）※	24
合 計			124

※詳細については、「成果に基づき単位認定される科目」一覧を確認してください。

【留意事項】

- ・開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。
- ・履修計画を立てる際には、必ず「[学修の手引き](#)」の「[履修計画](#)」や「[履修登録](#)」を確認してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考		
			必修	選択				
<b>【建学】</b>								
BDS 101	仏教（生き方を考える）基礎	1年	2					
BDS 301	仏教（生き方を考える）発展	3年	2					
<b>【スポーツ・身体】</b>								
HPE 101	スポーツと身体科学	1年		1				
HPE 201	フィールド・スポーツ	2年		1				
<b>【情報】</b>								
SIC 101	データサイエンス基礎	1年	1					
SIC 102	人工知能基礎	1年	1					
SIC 105	メディアリテラシー	1年		1				
SIC 103	情報技法基礎	1年		1				
SIC 201	情報技法発展 A	2年		1	◆「情報技法基礎」を修得していること			
SIC 202	情報技法発展 B	2年		1				
SIC 203	情報技法発展 C	2年		1				
SIC 104	プログラミング基礎	1年		1	◆「プログラミング基礎」を修得していること			
SIC 204	プログラミング発展 A	2年		1				
SIC 205	プログラミング発展 B	2年		1				
SIC 206	人工知能技術と社会	2年		1	履修条件については「副専攻（AI活用エキスパートコース）科目一覧」に詳しい記載があるので必ず確認すること	副専攻(AI活用エキスパートコース)の学生のみ履修可能		
SIC 207	機械学習活用 1	2年		1				
SIC 208	機械学習活用 2	2年		1				
SIC 209	データサイエンス活用 1	2年		1				
SIC 210	データサイエンス活用 2	2年		1				
SIC 211	メディアデザイン	2年		1				
SIC 213	サービスデザイン	2年		1				
SIC 301	人工知能実践プロジェクト	3年		2				
<b>【外国語】</b>								
ENG 101	英語基礎 A	1年	2					
ENG 102	英語基礎 B	1年		1				
ENG 103	英語基礎 C	1年	2					
ENG 104	英語基礎 D	1年		1				
ENG 201	英語発展 A	2年		1				
ENG 202	英語発展 B	2年		1				
ENG 203	英語発展 C	2年		1				
ENG 204	英語発展 D	2年		1				
ENG 301	英語総合 A	3年		1				
ENG 302	英語総合 B	3年		1				
CHN 101	中国語基礎 1	1年		1	◆「中国語基礎 1」「中国語基礎 2」をセットで履修すること			
CHN 102	中国語基礎 2	1年		1				
CHN 201	中国語発展 1	2年		1	◆「中国語発展 1」を履修していること			
CHN 202	中国語発展 2	2年		1				
CHN 301	中国語総合 1	3年		1				
CHN 302	中国語総合 2	3年		1				
FRA 101	フランス語基礎 1	1年		1	◆「フランス語基礎 1」「フランス語基礎 2」をセットで履修すること			
FRA 102	フランス語基礎 2	1年		1				
FRA 201	フランス語発展 1	2年		1	◆「フランス語発展 1」を履修していること			
FRA 202	フランス語発展 2	2年		1				
FRA 301	フランス語総合 1	3年		1				
FRA 302	フランス語総合 2	3年		1				
GER 101	ドイツ語基礎 1	1年		1	◆「ドイツ語基礎 1」「ドイツ語基礎 2」をセットで履修すること			
GER 102	ドイツ語基礎 2	1年		1				
GER 201	ドイツ語発展 1	2年		1	◆「ドイツ語発展 1」を履修していること			
GER 202	ドイツ語発展 2	2年		1				
GER 301	ドイツ語総合 1	3年		1				
GER 302	ドイツ語総合 2	3年		1				
SPA 101	スペイン語基礎 1	1年		1	◆「スペイン語基礎 1」「スペイン語基礎 2」をセットで履修すること			
SPA 102	スペイン語基礎 2	1年		1				
SPA 201	スペイン語発展 1	2年		1	◆「スペイン語発展 1」を履修していること			
SPA 202	スペイン語発展 2	2年		1				
SPA 301	スペイン語総合 1	3年		1				
SPA 302	スペイン語総合 2	3年		1				

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
KOR 101	韓国語基礎 1	1年		1	◆「韓国語基礎 1」「韓国語基礎 2」をセットで履修すること	履修条件については各科目のシラバスに詳しい記載があるので必ず確認すること
KOR 102	韓国語基礎 2	1年		1		
KOR 201	韓国語発展 1	2年		1	◆「韓国語発展 1」を履修していること	
KOR 202	韓国語発展 2	2年		1		
KOR 301	韓国語総合 1	3年		1		
KOR 302	韓国語総合 2	3年		1		
AL 301	留学準備 1	1年		1	◆「留学準備 1」「留学準備 2」をセットで履修すること	履修条件についてはシラバスに詳しい記載があるので必ず確認すること
AL 302	留学準備 2	1年		1		
AL 101	英語資格・検定試験対策 1	1年		1	◇TOEIC550点程度の英語力があること	
AL 102	英語資格・検定試験対策 2	1年		1	◇TOEIC400点程度の英語力があること	
【教養日本語】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1			
JPA 201	日本語基礎 A	1年		1	◆留学生または日本語を母語としない学生	*1*2
JPA 202	日本語基礎 B	1年		1		外国語科目群の必修科目に代えることができる
JPA 203	日本語基礎 C	1年		1		
JPA 204	日本語基礎 D	1年		1		
JPA 301	日本語発展 A	2年		1	◆留学生または日本語を母語としない学生	*2
JPA 302	日本語発展 B	2年		1		
JPA 303	日本語発展 C	2年		1	◆次のいずれかのセットで履修すること	
JPA 304	日本語発展 D	2年		1	①「日本語発展A」「日本語発展B」 ②「日本語発展C」「日本語発展D」	
JPA 101	日本事情	1年		2	◆留学生または日本語を母語としない学生	
【CHP】						
SDG 101	SDG s 基礎	1年		1		
SDG 201	SDG s 発展 1	1年		1		
SDG 202	SDG s 発展 2	1年		1		
SDG 203	SDG s 発展 3	1年		1		
SDG 301	SDG s 特講	3年		2		
【フィールド・スタディーズ】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ 1	1年		1		学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します 履修登録は不要です
FW 112	フィールド・スタディーズ 2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ 3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ 4	1年		4		
AFS 101	フィールド・スタディーズ発展 1 A	1年		1		詳細はガイダンスで確認すること 履修登録は不要です
AFS 102	フィールド・スタディーズ発展 1 B	1年		2		
AFS 103	フィールド・スタディーズ発展 1 C	1年		3		
AFS 104	フィールド・スタディーズ発展 1 D	1年		4		
AFS 201	フィールド・スタディーズ発展 2 A	2年		1		
AFS 202	フィールド・スタディーズ発展 2 B	2年		2		
AFS 203	フィールド・スタディーズ発展 2 C	2年		3		
AFS 204	フィールド・スタディーズ発展 2 D	2年		4		
AFS 205	フィールド・スタディーズ発展 2 E	2年		5		
AFS 301	フィールド・スタディーズ発展 3 A	3年		1		
AFS 302	フィールド・スタディーズ発展 3 B	3年		2		
AFS 303	フィールド・スタディーズ発展 3 C	3年		3		
AFS 304	フィールド・スタディーズ発展 3 D	3年		4		
AFS 305	フィールド・スタディーズ発展 3 E	3年		5		
AFS 401	フィールド・スタディーズ発展 4 A	4年		1		
AFS 402	フィールド・スタディーズ発展 4 B	4年		2		
AFS 403	フィールド・スタディーズ発展 4 C	4年		3		
AFS 404	フィールド・スタディーズ発展 4 D	4年		4		
【インターンシップ】						
CD 211	インターンシップ	2年		1		
CD 212	企業協働プロジェクト	2年		2		
【全学教養ゼミナール】						
LAS 101	全学教養ゼミナール 1	1年		2		
LAS 102	全学教養ゼミナール 2	1年		2		
【寄付講座】						
EC 101	武蔵野市自由講座	1年		2		寄付講座：武蔵野市
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村證券

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

\*1 留学生は「英語基礎A,C(2科目4単位)」の代わりに、「日本語基礎A-D(4科目4単位)」が履修登録されています。

「日本語基礎A-D」は、外国語必修科目に対応するものとして、進級基準における「必修未修得2科目以内」の条件の対象となり、原級留年時の成績リセットの対象となります。

\*2 日本語を母語としない学生が履修を希望する場合は、前期履修登録期間までに武蔵野教務課にお問合せください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考	
			必修	選択			
<b>【基礎科目群】</b>							
ECON 101	経済学基礎 1	1年		2	◆全員履修		
ECON 102	経済学基礎 2	1年		1			
ECON 191	初年次ゼミ	1年		1	◆全員履修		
ECON 111	経済学入門	1年		2	◆全員履修		
ECON 103	経済学と数学	1年		1	◆全員履修		
ECON 201	経済学のための数学	2年		2	◆全員履修		
ECON 104	統計学 1	1年		2	◆全員履修		
ECON 107	統計学 2	1年		2	◆全員履修		
ECON 105	データ分析入門	1年		2	◆全員履修		
ECON 106	大学での学び方を考える	1年		1			
ECON 112	ミクロ経済学入門 1	1年		2	◆全員履修		
ECON 211	ミクロ経済学入門 2	2年		2	◆全員履修		
ECON 121	マクロ経済学入門 1	1年		2	◆全員履修		
ECON 222	マクロ経済学入門 2	2年		2	◆全員履修		
<b>【基幹科目群】</b>							
ECON 213	中級ミクロ経済学 1	2年		2			
ECON 214	中級ミクロ経済学 2	2年		2	◆「中級ミクロ経済学 1」を履修していること		
ECON 223	中級マクロ経済学 1	2年		2			
ECON 224	中級マクロ経済学 2	2年		2			
ECON 217	ゲーム理論 1	2年		2	◆全員履修		
ECON 218	ゲーム理論 2	2年		2			
ECON 205	計量経済学 1	2年		2			
ECON 206	計量経済学 2	2年		2	◆「計量経済学 1」を履修していること		
ECON 261	国際経済史 1	2年		2			
ECON 262	国際経済史 2	2年		2	◆「国際経済史 1」を履修していること		
ECON 271	英語で学ぶ経済学 1	2年		2			
ECON 272	英語で学ぶ経済学 2	2年		2			
ECON 291	経済学プレゼミ	2年		2	◆全員履修		
<b>【展開科目群】</b>							
ECON 131	データで学ぶ世界経済	1年		2		【基礎科目群・基幹科目群・展開科目群・応用科目群・最先端研究】より60単位選択必修(※60単位の内、30単位は【基礎科目群・基幹科目群】より修得すること)	
ECON 363	データで学ぶ日本経済史	3年		2			
ECON 263	現代経済史 1	2年		2			
ECON 264	現代経済史 2	2年		2	◆「現代経済史 1」を履修していること		
ECON 361	経済思想史 1	3年		2			
ECON 362	経済思想史 2	3年		2			
ECON 241	財政学 1	2年		2			
ECON 242	財政学 2	2年		2	◆「財政学 1」を履修していること		
ECON 323	日本経済論	3年		2			
ECON 341	公共経済学 1	3年		2			
ECON 342	公共経済学 2	3年		2	◆「公共経済学 1」を履修していること		
ECON 333	経済政策論	3年		2			
ECON 351	産業組織論 1	3年		2	◇「ミクロ経済学入門 1」かつ「ゲーム理論 1」を履修していること		
ECON 352	産業組織論 2	3年		2	◆「産業組織論 1」を履修していること		
ECON 331	国際貿易論 1	3年		2			

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
ECON 332	国際貿易論 2	3年		2	◆「国際貿易論 1」を履修していること	
ECON 227	金融論 1	2年		2		
ECON 228	金融論 2	2年		2	◆「金融論 1」を履修していること	
ECON 321	国際金融論 1	3年		2		
ECON 322	国際金融論 2	3年		2	◆「国際金融論 1」を履修していること	
ECON 353	労働経済学 1	3年		2		
ECON 354	労働経済学 2	3年		2	◆「労働経済学 1」を履修していること ◇「ゲーム理論 2」を履修していること	
ECON 343	環境経済学 1	3年		2		
ECON 344	環境経済学 2	3年		2	◆「環境経済学 1」を履修していること	
ECON 325	金融システム論	3年		2		
ECON 355	行動経済学	3年		2		
ECON 345	途上国の経済分析	3年		2		
ECON 334	都市経済学	3年		2		
【応用科目群】						
ECON 381	経済学特殊研究 A	3年		2	◆「計量経済学2」を履修していること	
ECON 382	経済学特殊研究 B	3年		2	◆「計量経済学2」を履修していること	2023年度休講
【最先端研究】						
ECON 391	ゼミナール 1	3年		2	◆全員履修	
ECON 392	ゼミナール 2	3年		2	◆全員履修	
ECON 491	ゼミナール 3	4年		2	◆全員履修	
ECON 492	ゼミナール 4	4年		2	◆全員履修	
ECON 493	卒業論文	4年		4		
【経営・会計科目群】						
BIZ 100	経営学入門	1年		2		
BIZ 201	経営学基礎	2年		2		
BIZ 225	フィナンシャル・プランニング論 1	2年		2		
BIZ 226	フィナンシャル・プランニング論 2	2年		2	◆「フィナンシャル・プランニング論 1」を履修していること	
ACF 102	会計学入門	1年		2		
ACF 211	簿記 1	2年		2		
ACF 212	簿記 2	2年		2	◆「簿記 1」を履修していること	
【資格対策科目群】						
CD 361	キャリア開発	3年		2		
CD 261	地方公務員特殊研究 1	2年		4		
CD 262	地方公務員特殊研究 2	2年		4		
CD 363	地方公務員特殊研究 3	3年		4		
CD 364	地方公務員特殊研究 4	3年		4		
【隣接科目群】						
<法律学>						
LAW 101	法学 1 (法学の基礎)	1年		2		
LAW 102	法学 2 (法学概論)	1年		2		2023年度休講
LAW 111	憲法 1 (統治)	1年		2		
LAW 112	憲法 2 (人権)	1年		2		
LAW 321	民法 5 A (親族法)	3年		2		
LAW 322	民法 5 B (相続法)	3年		2		
LAW 211	行政法 1 (総論①)	2年		2		
LAW 311	行政法 2 (総論②)	3年		2	◆「行政法 1 (総論①)」を履修していること	
LAW 123	民法 S 1 (総則)	2年		2		
LAW 227	民法 S 2 (物権法・担保物権法)	2年		2		
LAW 228	民法 S 3 (債権各論)	2年		2		
LAW 229	民法 S 4 (債権総論)	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
＜政治学＞						
POLS 101	政治学原論 1	1年		2		
POLS 102	政治学原論 2	1年		2		
POLS 221	日本政治論	2年		2		
POLS 241	国際政治学 1	2年		2		
POLS 242	国際政治学 2	2年		2		
POLS 211	政治学史 1	2年		2		
POLS 212	政治学史 2	2年		2		
POLS 222	行政学	2年		2		
POLS 223	公共政策論 1	2年		2		
POLS 224	公共政策論 2	2年		2		
【育成プログラム】						
EXPG 150	国家公務員育成プログラム 1	1年		1	◆育成プログラム生のみ	
EXPG 151	国家公務員育成プログラム 2	1年		1		
EXPG 250	国家公務員育成プログラム 3	2年		1		
EXPG 251	国家公務員育成プログラム 4	2年		1		
-	育成プログラム 1	時間割表参照		1		
-	育成プログラム 2	時間割表参照		2		
-	育成プログラム 3	時間割表参照		3		
-	育成プログラム 4	時間割表参照		4		
-	育成プログラム 5	時間割表参照		5		
-	育成プログラム 6	時間割表参照		6		
-	育成プログラム 7	時間割表参照		8		

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

経済学科 履修モデル 2022年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。  
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

民間企業志向

金融機関をはじめとし、商社、メーカー、情報通信産業など

このモデルでは、カリキュラムの編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、経済学の基礎から専門的な水準まで系統立てて学んでいきます。特に3年次からは、自分の進路志望に合わせて広く深く学べるように構成しています。

★必修科目 ◆全員履修科目 数字は単位数

科目区分		1年		2年		3年		4年								
武蔵野INITIAL (16)	必修 (16)	建学科目	★ 仏教(生き方を考える)基礎	2		★ 仏教(生き方を考える)発展	2									
		情報	★ データサイエンス基礎	1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照											
			★ 人工知能基礎	1												
		外国語	★ 英語基礎A	2												
			★ 英語基礎C	2												
		教養日本語	★ 日本語リテラシー	1												
			★ SDGs基礎	1												
		CHP	★ SDGs発展1	1												
			★ SDGs発展2	1												
			★ SDGs発展3	1												
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ	1														
学科科目 (84)	選択必修 (60)	基礎科目群	◆ 経済学基礎1	2	◆ 経済学のための数学	2										
			◆ 初年次ゼミ	1	◆ ミクロ経済学入門2	2										
			◆ 経済学入門	2	◆ マクロ経済学入門2	2										
			◆ 経済学と数学	1												
			◆ 統計学1	2												
			◆ 統計学2	2												
			◆ データ分析入門	2												
			◆ ミクロ経済学入門1	2												
			◆ マクロ経済学入門1	2												
			◆ 経済学基礎2	1												
◆ 大学での学び方を考える	1															
展開科目群	基礎科目群	◆ ゲーム理論1	2													
		◆ 経済学プレゼミ	2													
		◆ 中級ミクロ経済学1	2													
		◆ 中級マクロ経済学1	2													
		◆ 中級ミクロ経済学2	2													
		◆ 中級マクロ経済学2	2													
		◆ 計量経済学1	2													
		◆ 計量経済学2	2													
		◆ 国際経済学1	2													
		◆ 国際経済学2	2													
展開科目群	展開科目群	◆ 英語で学ぶ経済学1	2													
		◆ 英語で学ぶ経済学2	2													
		現代経済史1	2	現代経済史1	2	データで学ぶ日本経済史	2	日本経済論	2							
		現代経済史2	2	現代経済史2	2	経済思想史1	2	公共経済学1	2							
		金融論1	2	金融論1	2	経済思想史2	2	公共経済学2	2							
		金融論2	2	金融論2	2	産業組織論1	2									
						産業組織論2	2									
						国際金融論1	2									
						国際金融論2	2									
						労働経済学1	2									
				労働経済学2	2											
				環境経済学1	2											
				環境経済学2	2											
				金融システム論	2											
				行動経済学	2											
選 択 (24)	最先端研究	◆ セミナール1	2	◆ セミナール2	2	◆ セミナール3	2	◆ セミナール4	2							
		◆ セミナール2	2			◆ セミナール4	2	卒業論文	4							
選 択 (24)	最先端研究	経営学入門	2	簿記1	2	キャリア開発	2									
		会計学入門	2													
自由選択科目(24)						証券ビジネス論	2									
備考																
履修モデル 計			36		40		36		14							
履修上限単位数(CAP) ※1			40		40		40		40							
卒業所要単位数 ※2																
						合計124単位以上										

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

## 経済学科 履修モデル 2022年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。  
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

### 【モデル名】

経済専門職志向

### 【進路イメージ】

大学院、コンサルタント、アナリスト、国家公務員総合職(経済)等

### 【モデル概要】

このモデルは、経済学の基礎から専門的かつ高度な水準まで系統立てて学び、経済に関わる諸問題を分析できるを習得し、大学院進学や公務員総合職(経済)で必要とされる能力を身に付けられるよう構成しています。特に大学院進学の場合は、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「計量経済学」で基礎を固め、3年生の専門科目、ゼミナールで関心をもつ専門分野を学ぶことで高度な知識が修得できるようにしています。

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学科目	★ 仏教(生き方を考える)基礎 2		★ 仏教(生き方を考える)発展 2	
		情報	★ データサイエンス基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照		
			★ 人工知能基礎 1			
		外国語	★ 英語基礎A 2			
			★ 英語基礎C 2			
		教養日本語	★ 日本語リテラシー 1			
		CHP	★ SDGs基礎 1			
			★ SDGs発展1 1			
			★ SDGs発展2 1			
			★ SDGs発展3 1			
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ 1					
学科科目 (84)	選択必修 (60)	基礎科目群	◆ 経済学基礎1 2	◆ 経済学のための数学 2		
			◆ 初年次ゼミ 1	◆ ミクロ経済学入門2 2		
			◆ 経済学入門 2	◆ マクロ経済学入門2 2		
			◆ 経済学と数学 1			
			◆ 統計学1 2			
			◆ 統計学2 2			
			◆ データ分析入門 2			
			◆ ミクロ経済学入門1 2			
			◆ マクロ経済学入門1 2			
			◆ 経済学基礎2 1			
◆ 大学での学び方を考える 1						
展開科目群	基礎科目群		◆ ゲーム理論1 2			
			◆ 経済学プレゼミ 2			
			中級ミクロ経済学1 2			
			中級マクロ経済学1 2			
			中級ミクロ経済学2 2			
			中級マクロ経済学2 2			
			ゲーム理論2 2			
			計量経済学1 2			
			計量経済学2 2			
			英語で学ぶ経済学1 2			
	英語で学ぶ経済学2 2					
応用科目群	展開科目群		現代経済史1 2	現代経済史2 2	経済政策論 2	
			財政学1 2	経済思想史1 2	途上国の経済分析 2	
			金融論1 2	経済思想史2 2		
				財政学2 2		
				公共経済学1 2		
				公共経済学2 2		
				産業組織論1 2		
				産業組織論2 2		
				国際貿易論1 2		
				国際貿易論2 2		
		金融論2 2				
		労働経済学1 2				
		労働経済学2 2				
		環境経済学1 2				
		環境経済学2 2				
		金融システム論 2				
		行動経済学 2				
選 択 (24)	最先端研究			◆ ゼミナール1 2	◆ ゼミナール3 2	
				◆ ゼミナール2 2	◆ ゼミナール4 2	
		経営学入門 2			卒業論文 4	
		会計学入門 2				
自由選択科目(24)						
備考						
履修モデル 計		36	34	40	16	
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40	
卒業所要単位数 ※2						
合計124単位以上						

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAIによって拡大することがあります。

※2 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

**経済学科 履修モデル 2022年度入学生**

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。  
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

**【モデル名】**

**公務員志向**

**【進路イメージ】**

国家公務員一般職、  
地方公務員上級職(県庁、特別区、政令指定市)  
国家公務員専門職、地方公務員一般職

**【モデル概要】**

ミクロ経済学、マクロ経済学などの経済学の主要科目に加え、憲法、民法（ショートコース）など公務員試験に必要な科目を履修します。さらに、「地方公務員特殊研究 1～4」を履修することで、合格のための実践的能力を修得することができます。また、これは別に、公務員上級職を目指す学生向けに国家公務員育成プログラムが用意されています。

★必修科目 ◆全員履修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年												
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学科目	★ 仏教（生き方を考える）基礎 2		★ 仏教（生き方を考える）発展 2												
		情報	★ データサイエンス基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照													
			★ 人工知能基礎 1														
		外国語	★ 英語基礎A 2														
			★ 英語基礎C 2														
		教養日本語	★ 日本語リテラシー 1														
		CHP	★ SDGs 基礎 1														
			★ SDGs 発展1 1														
			★ SDGs 発展2 1														
			★ SDGs 発展3 1														
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ 1																
学科科目 (84)	選択必修 (60)	基礎科目群	◆ 経済学基礎1 2	◆ 経済学のための数学 2													
			◆ 初年次ゼミ 1	◆ ミクロ経済学入門2 2													
			◆ 経済学入門 2	◆ マクロ経済学入門2 2													
			◆ 経済学と数学 1														
			◆ 統計学1 2														
			◆ 統計学2 2														
			◆ データ分析入門 2														
			◆ ミクロ経済学入門1 2														
			◆ マクロ経済学入門1 2														
			展開科目群	◆ ゲーム理論1 2	◆ 経済学プレゼミ 2	◆ 中級ミクロ経済学1 2	◆ 中級マクロ経済学1 2	◆ 中級マクロ経済学2 2									
◆ 計量経済学1 2	◆ 計量経済学2 2																
◆ 財政学1 2	◆ 財政学2 2	◆ データで学ぶ日本経済史 2							◆ 日本経済論 2	◆ 公共経済学1 2	◆ 公共経済学2 2	◆ 経済政策論 2	◆ 国際貿易論1 2	◆ 国際貿易論2 2	◆ 金融システム論 2	◆ 都市経済学 2	
◆ 応用科目群																	
◆ 最先端研究									◆ ゼミナール1 2	◆ ゼミナール2 2	◆ ゼミナール3 2	◆ ゼミナール4 2	◆ 卒業論文 4	◆ 日本政治論 2			
選択 (24)	法学1（法学の基礎） 2	地方公務員特殊研究1 4							地方公務員特殊研究3 4	地方公務員特殊研究4 4							
	経営学入門 2	地方公務員特殊研究2 4							民法S1（総則） 2	民法S2（物権法・担保物権法） 2							
	会計学入門 2	簿記1＊ 2							簿記2＊ 2	民法S3（債権各論） 2	民法S4（債権総論） 2						
自由選択科目(24)																	
備考			*国税専門官を志望する場合は、簿記1、簿記2の履修を推奨する。														
履修モデル 計		36	38	40	10												
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40												
卒業所要単位数 ※2					合計124単位以上												

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

1. 留学の単位認定科目

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学 1	1	学科科目 (選択)	留学先での修得科目の内容が、本学の開講科目の内容に相当する場合は読み替えて単位認定し、それ以外の科目を左記科目として認定します。  留学先での修得科目を本学で単位認定する際の換算方法は、以下のとおりです。 語学科目 18時間 = 1単位 学部科目 11.25時間 = 1単位
	協定留学 2	2		
	協定留学 3	4		
	協定留学 4	6		
	協定留学 5	8		
	協定留学 6	10		
	協定留学 7	10		
認定 (SAP) 留学	認定留学 1	1	学科科目 (選択)	ただし、留学先での修得科目の内容によっては単位が認定されない場合があります。  留学先での単位認定の上限単位数は、以下のとおりです。 通年：40単位 半期：20単位 1学期：10単位
	認定留学 2	2		
	認定留学 3	4		
	認定留学 4	6		
	認定留学 5	8		
	認定留学 6	10		
	認定留学 7	10		
短期語学研修	海外語学研修 1	2	自由選択科目 ※	参加するプログラムに応じて、左記科目として認定します。  研修先での受講を本学で単位認定する際は、18時間を1単位として換算します。
	海外語学研修 2	3		
	海外語学研修 3	4		
	海外語学研修 4	4		
	オンライン語学研修 1	1		
	オンライン語学研修 2	1		
	オンライン語学研修 3	2		
	オンライン語学研修 4	2		
	オンライン語学研修 5	3		
	オンライン語学研修 6	3		
	オンライン語学研修 7	4		
オンライン語学研修 8	5			

2. 資格試験の合格による単位認定科目（単位認定対象講座の受講が必要）

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定 I	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要です (今年度は単位認定の対象となる講座は開講されません)。
	資格認定 II	2		
	資格認定 III	2		
	資格認定 IV	1		
	資格認定 V	1		
	資格認定 VI	1		
	資格認定 VII	1		

3. 本学で認めたボランティア活動による単位認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動 1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間を本学で認定する際は、45時間を1単位として換算します。
	ボランティア活動 2	1		
	ボランティア活動 3	2		
	ボランティア活動 4	2		
	ボランティア活動 5	4		

4. 本学で認めたキャリアデザインに関する単位認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
キャリアデザイン	キャリアデザイン A	1	自由選択科目 ※	2021年度以降入学生は認定可能です。
	キャリアデザイン B	1		
	キャリアデザイン C	2		
	キャリアデザイン D	2		
	キャリアデザイン E	2		

5. その他本学が認めた単位認定科目

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

**【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】**

学科・課程年度によって武蔵野INITIAL、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

**●卒業所要単位表**

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※		以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野INITIAL（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・	

武蔵野INITIALのうち、必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

**●開講表**

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<b>【基礎科目群】</b>						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナール	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
<b>【基幹科目群】</b>						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>

履修が可能となる学年。  
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。